

白岡ニュータウン自治会だより

5月期首号

平成14年5月20日

白岡ニュータウン自治会発行
会長 岡田 光 旦

挨拶と花と緑の
明るいニュータウン

『第14回通常総会』開催さる



5月3日（金）憲法記念日に、白岡東小学校体育館にて第14回通常総会が開催されました。今年は会場の都合で憲法記念日の開催になりました。

決定事項、質疑応答事項などここにお知らせ致します。尚、本会は総会員数に対し、当日出席者 179 名、委任状による出席者 636 名、総出席者 815 名、出席率（有効決議率）76.6%にて総会成立と成りましたことご報告致します。

1. 会長挨拶

総会審議に先立ち岡田会長より挨拶があり、一年間の活動方針の説明がありました。

<岡田会長挨拶・活動方針>

今年の総会は会場の関係で本日憲法記念日、連休の最中の開催になったこと申し訳なくお詫び致します。連休にも関わらず多数ご出席賜わり厚くお礼を申し上げます。

平成13年度を総括致しますと、自治会員の皆様はじめ役員・班長さんのご努力により、自治会活動が年々盛り上がりを見せ、スローガン（挨拶と花と緑の明るいニュータウン）についても徐々に定着しつつあり、平成14年度に関しても更なる発展を期待するものです。

【平成14年度活動方針】

【挨拶と花と緑の明るいニュータウン】

生活環境を重視した、成熟した白岡ニュータウンに！！

コミュニケーションを大切にし、花いっぱい緑豊かな街に。

玄関先はもとより、二階のフラワーボックスにも花を飾りましょう。

花を愛する人は感性豊かな人、花と緑のある生活は私たちの暮らしに潤いを与えます。

『快適な暮らし』、『閑静な住宅街』、『安心して暮らせる街づくり』をめざして本年度の自治会活動に取り組んでまいります。皆様のご協力をお願い致します。

☆IT時代に対応して役員インターネット会議。（連絡迅速化）

☆ペイオフ対応。（自治会費、CATV資金）三銀行と郵便局。

- ①子供のための“ふるさとの思い出”づくり。（盆踊り、子供の遊び等）
（PTA・社会福祉協議会・悠友会 等との連携強化）
- ②学校完全週五日制への対応。（学校・家庭・地域社会の関わりについて）
- ③高齢化進むニュータウンへの対応
 - バリアフリー化…緑道と公園を簡易型のバリアフリー化。（交通事故に注意）
 - 新白岡駅のエスカレーター設置実現へ。
 - 高齢化に向けての諸行事の見直し。
- ④安全性
 - 深夜の窃盗対策、ひったくり対策、…駅前交番人員増強とパトロール強化。

○中央通り照明灯完成（6月28日）。交通騒音対策、…町役場へ。

⑤快適性

- 花いっぱい運動。玄関先や二階のフラワーボックスにも、花を飾りましょう。
- 街路樹、緑道、公園の落ち葉対策について今年もご協力をお願いします。
- 近隣とのコミュニケーションの場づくりとして班会議の実施。
- CATV自主運営、諸連絡の徹底。（料金年6,000円、1,416円減）
- 緑化規約見直し「ガイドライン」を作成。大きな違反は各戸文書にて連絡。
- 学校の校庭を芝生に働きかけ。砂塵対策。
- 犬の糞の持ち帰り励行。タバコの吸い殻のポイ捨て禁止にご協力を！

⑥文化活動

- 昨年に引き続きふれあい音楽会の実施。
- 青空市で自治会員の作品展を実施。今から作品の製作準備願います。

⑦その他

公共施設誘致、町役場への働きかけ。どのような施設が良いか？

※『自治会だより』正月号カラー化、広報部や皆様のご協力により内容充実、皆様のご投稿をお願いします。以上

2. 平成13年度活動・決算報告・監査報告

平成13年度活動・行事については田中総務理事より、決算報告については甘利会計理事より報告があり、横山監事から監査報告がなされました。一括審議され原案通り可決されました。（詳細については配布済の総会資料をご参照下さい）

3. 新役員の選出

平成14年度新役員・組織案について辻野総務理事より紹介があり、原案通り承認・可決され、19名の理事（会長1名・副会長3名）・監事2名が選出されました。（詳細は配布済総会資料をご参照下さい）



岡田会長



大西副会長



森田副会長



飯塚副会長

4. 平成14年度活動計画・予算案

岡田会長より平成14年度の活動方針についての説明の後、辻野総務理事から活動・行事計画（案）・町田会計理事から予算（案）について説明が行われました。

5. 規則等の改定・制定

辻野総務理事から自治会規則の改定（案）について、岡本広報理事からCATV規約の制定（案）について、前野呂企画理事から緑化規約等に関するガイドラインの制定（案）の説明が行われました。

以上の平成14年度活動・行事計画、予算、並びに規則等の改定・制定について一括採決がなされ、原案通り可決されましたことご報告致します。（詳細については配布済の総会資料をご参照下さい）

6. その他

自治会総会における質疑応答

1. 生垣消毒について

<質問> 生垣消毒は希望者登録制になっているが、害虫駆除はニュータウン全体の問題であり、自治会で一括して行うべきではないのか

<回答> 個別に業者に依頼して生垣消毒をやっている世帯もあり、現状自治会が一括して行うという考えはない。ただご指摘の通り、害虫駆除は住民全体の課題であり、本来的には全戸で行うのが理想。現在マンションを除く世帯数の75.6%が申込をされている状態であり、今後これをより一層100%に近づけるべく努力したい

<質問> 昨年の生垣消毒の際、現場で業者の作業の様子を見ていたが、実にいい加減。消毒をしてもいないのに（間違えて）消毒済としているケースもあったようだ。これではなんのためにコストを払って依頼しているのか分からない。

<回答> 本年は業者を替え仕切りなおしを図った。しばらく様子を見たい

2. CABLE TV の運営について

- <質問> CABLE TV 関連の予算を見ていると相当な金額が動いているが、メンテナンス関係はどうなっているか。ある時突然多額の設備更改費用分が住民に賦課されるようなことはないのか
- <回答> CABLE TV 関係予算に関しては長期収支試算表を策定しそれに基づき清々と計画的に運営が行われており、ご指摘のような懸念はないものと考えている。

3. 野立て看板について

- <質問> 最近緑化規約に違反していると思われる野立て看板を2つほど見かけたが、どういう対応をしているのか
- <回答> ご指摘の看板は役場を通じて業者に対し、撤去するよう申し入れを行っている。

4. 中央通り櫛の伐採に関して

- <質問> 中央通り付近に住んでいるが、昨年は櫛の伐採をやってもらっていなかったようだ。毎年、できれば葉の落ちる前に木を切ってほしいのだが。
- <回答> 一昨年十二分に切っていることもあり、昨年は切らなかった。櫛の伐採については中央通り沿道住民とそれ以外の住民間で賛否両論あり自治会でも対応に苦慮している。将来的には他の種の植林を行うなどの対応を考えていきたい。

7. 出席者からの『通常総会』に関するアンケート

自治会総会出席者アンケートの結果について

当日出席いただいた方に今回の総会についてのアンケートをお願いしましたところ、出席者約180名中47名の方から回答を頂きました。以下はその結果です

1. 総会の開始時刻（当日は9：30開始）

- ①今のままでよい 85% ②10時頃がよい 11% ③その他・無回答 4%

2. 総会の所要時間（当日は約3時間でした）

- ①今回程度でよい 57% ②もっと短くすべき36% ③もっと長くすべき4% ④無回答 3%
- なお、「もっと短くすべき」と答えた方（17名）の中では「2時間程度」という回答が目立ちました。

3. 議事の進め方

- ①適切であり特に問題なし68% ②改善を要する 26% ③無回答 6%

「改善を要する」と答えた方（12名）が指摘された要改善項目（1名は具体例なし）

- ・ 定例報告を省略し、質疑応答や討議にもっと時間を割くべき（4名）
- ・ 規約等をそのまま読み上げるのは時間の無駄。（4名）
- ・ 説明が長すぎる（事前に資料を配布してあるので細かい説明は不要）（2名）
- ・ 発言者によって説明の深さにばらつきがある。（1名）

「改善を要する」とされた方のご意見で目立つのは「総会を質疑応答と討論を主とする会にしてほしい」という点でした。

4. マイクの状態

- ①よく聴き取れた 55% ②普通 28% ③やや聴き取りづらい 9% ④その他 8%

5. 会場の雰囲気

- ①とても良い 21% ②普通 68% ③改善を要する 2%（1名） ④無回答 9%

会場の雰囲気に関しては概ね評価されているようです。「改善を要する」とされた方の意見は「質疑応答の機会が少なく住民意思が反映されていない」という点でした

6. その他の個別提言

- ・ 説明があり理解はしたが、連休の谷間の総会は翌年以降はやめてほしい
- ・ 質疑応答の時間をもっととって対話の場としてほしい

（総評）

今回の総会の議事運営は上記アンケート結果にも表れている通り概ね順調に遂行されたと言えます。ただ、アンケートの中で際立って改善要望の多かった「質疑応答時間の拡充」につきましては、自治会総会という行事の性格に照らし合わせても尤もなご意見であり、今後の最優先課題のひとつとして鋭意検討していくべきであると考えられます。

多くの貴重なご意見ありがとうございました。

（広報部）

以上で平成14年度通常総会は終了致しました。終了後は、出席者へ花の苗1束のプレゼントがあり、また広報部から昨年に引き続き、平成13年度の諸行事スナップ写真の展示を致し、希望者に自由に持ち帰って頂きました。展示した写真でかなり残っています。5月末日まで、2丁目集会所に展示致します。各自ご欄頂き、持ち帰って下さい。

（文責 広報部）

“副会長を担当します”

副会長 森田 貴美子

この地で14年目の春を迎え、まだまだ先のことと思っていた2回目の班長が回ってきました。この間、女性理事を要望する声に対応して理事会に参加したり、時には行事のサポートを申し出たりしていました。ただ、いつもこの「女性」の二文字がついてくるのは少々窮屈です。女性の立場にこだわらず、一住民として関わっていきたくて願っています。

とはいえ、ITにも乗り遅れ、胸を張る得意分野もないのに、心意気だけで推薦を受けてしまった私ですので、山積する課題を目の前にして、会長・副会長諸氏のレクチャーを目下受講中です。先輩諸氏の目を白黒させるような私の素朴で小さな疑問や発想は一般会員間に共通する感覚だと信じて、いつかその成果を平易な表現で発信できれば幸いです。

また多くの異なる立場や意見・主張があつて当然の大所帯ですから、結論をみちびくまでの過程は容易ではありません。その経過を冷静に見守り、隙間をそれとなく埋める役目も大切でしょう。時にはアシスタントディレクター（AD）として、時にはタイムキーパーとなつて、「縁の下の副会長」をめざしたいものです。

さて会員の増加に伴い、年々予算は大型化し、行事も多岐にわたり充実してきました。総合地所に委託していた初期の活動と比較して「大変だ」という声が聞こえてくる一方でそれぞれの街区が抱える問題への要求も届きます。でもその解決は誰かがしてくれるわけではありません。今こそ「わが街」への愛着と責任を定着させる「踏ん張り時」かもしれません。将来を見据えた住環境に関心のある人、日頃から弱者への配慮を心がけている人、そして行事が大好きで街中に元気の素をまいてくれる人が手を挙げて名乗りやすい場を用意するのもこの任期の課題です。班長はもちろん役員も誰もが引き継いでゆこうという流れを生み出しましょう。

<私の視点> 「雀の子、……」

福地 光 男

我が家の庭に巣箱を作り、雀の巣づくりを楽しみにしていますが、巣箱の設計・設置が雀の好みに合わないのか、いまだに空家です。

「雀の子、そこのけそこのけお馬が通る」……小林一茶の有名な句です。

当時の情景を想像すると、きっとお侍さんを乗せた馬が通る、その前に雀が遊んでいて、まあ、雀は馬に蹴飛ばされる前に逃げると思うのですが、それを一茶が注意したのかな、と思うわけです。お馬さんは強いもの、雀は弱い者、という対比だと思います。本来なら雀が立ち去るまで馬が留まるように、「お馬さん、ちょっと待て、ちょっと待て、雀がいるよ」と言う方が自然ではないでしょうか。

さて、この馬と雀の子を、現在の車と歩行者に置き換えてみると、今も昔も日本人の考え方は変わっていないのかなという気がします。通勤の折、よく横断歩道で立ち止まりますが、それに気付き停車する車はほぼ皆無です。横断歩道の標識や道路上のマークは遠くからでもドライバーに横断歩道の存在を知らせる物だと思います。そして、歩行者がいれば車は一時停車をしなければならないと思います。車に対して歩行者は著しく弱い立場です。ドライバーの歩行者への配慮が欠けている、としか思えません。

最近、小学校では「道路を横切る時には、十分に車が来ないのかを確かめてから、渡りなさい」と指導していると聞きました。それはそれで正しいことだと思いますが、小学生に限らず歩行者が立っているだけで、車が止まる方が、もっと普通になって欲しいと思います。

仕事の関係で欧米に出かけることがあります。ドライバーの歩行者への対応が日本とは全く反対のような気がします。歩行者がいれば、必ず停車するし、スクールバスが止まっているだけで、後続車は停車しなければなりません。弱いものに対する強いものの対応関係が出来上がっているという印象です。アメリカ開拓当時から「Lady First」の精神とも通じるものがあるのでしょうか。

ところが、日本では車どころか、自転車ですらいきなりベルが聞こえたかと思うと、勢いよく自転車が脇をすり抜けて、ベルも鳴らさず通りすぎ、冷々とするのは日常茶飯事です。車にせよ、自転車にせよ、歩行者と衝突すればどうなるかは一目瞭然です。身近なところから気持ちよい生活を目指したいものです。ところで、「瘦蛙、負けるな、一茶ここにあり」の気持ちはほのほのとします。



《白岡東小コーナー》

『新学期です。よろしくお願ひします。』

白岡東小学校 校長 釜井満郎

平成14年度のはじめにあたり白岡東小学校教職員を代表し御挨拶を申し上げます。

日頃、皆様方には白岡東小学校の教育につきましては関心とご協力、ご支援を賜わりほんとうにありがとうございます。つくづくこの地域の環境の良さや地域の皆様の心温まる助言や協力して下さる姿勢に心打たれるものがあります。皆様方の学校への想いや、ご期待に応えるべく全教職員一丸になって全力で取り組み、子どもや保護者、地域の皆様が誇れる魅力と特色のある学校づくりに努めて参りたいと考えております。

本校第八回入学式を4月8日(月)に行いました。83名の新一年生が誕生し、元気に生活を始めました。全児童581名、教職員32名です。本年も前年同様よろしくお願ひします。

本年度より完全学校週五日制に伴い毎週土曜日、日曜日がお休みになります。学校では新しい教育内容の学習が始まりました。社会の変化に主体的に対応できる人間の育成を基盤にして、本校としては下記の通り教育目標(めざす児童像)を設定し、着実に達成したいと考えています。

- 思いやりのある子 (やさしく)
- 進んで学ぶ子 (かしこく)
- たくましい子 (たくましく)

毎週土曜日、日曜日がお休みになることに伴い、家庭、地域、学校が十分に連携し、有意義な生活が送れるようにしていきたいと考えております。また、本校の教育に参観や参加の機会をもてるよう積極的に公開し、地域に根ざし、地域の特色を生かし、皆様の期待に応えられる白岡東小学校を目指していきたいと思っています。



《コラム》

“この町・この街”……子供達に思う……

谷津由佳

「ただいま。」と我が家の小学五年の息子が帰ってきました。「宿題は？」と聞く間もなく、「高岩(公園)に行ってくる。」と出かけてしまいます。最近の子はゲーム遊びが多いと言われていますが、我が子は例外か、外遊びが大好きです。「何して遊んだの。」と聞くと、「サッカー」、「秘密基地づくり」と、いささか幼いなと思いつつも、楽しげな様子を見ていると、大小の公園が点在する緑豊かなこの地に越してきて、本当に良かったと実感します。

今春から、国の学習指導要項が大幅に改訂され、「生きる力」を身につける「ゆとり教育」の実施で週五日制が導入されました。学力低下が懸念され、マスコミでも議論が戦わされています。我が家も小中学生が居りますので、「ゆとり教育」弊害の狭間の世代になってしまわないか、多少の不安が無いといえば嘘になります。しかし、何故、改訂されたかという事を考えてみますと、日本が世界に於ける経済大国に成る為に行ってきた、「詰め込み教育」「受験戦争」等が、心の荒廃を生み、社会性の欠如等が日本の未来の行く末を案ずる大問題になってきたからではないでしょうか。我が家もこの機会に親として子供達に何を教えていくべきか、折角の「ゆとり教育」がただの学力低下で終わってしまわない様、家庭での躰を再度見直し、心豊かな人間に育ってもらう為に思考錯誤していくつもりです。幸い、このニュータウンの地は、心安らぐ田園風景が残り、地域の方々も親切で、有識者が揃っていらっしゃるとても良い環境です。家庭教育が一番の基本だという事をしっかりと自覚しながら、未熟な私共で補いきれない事など、是非、学校や地域の方々にお力をお借りし、未来を担う子供達の健やかな成長を共に見守っていただければと願っています。



“自治会役員の務めを終えて”と題して前理事の七名様に自治会に対する思いを一筆書いて頂きました。前理事各位には色々のご活躍頂き有難く感謝申し上げます。掲載順は総会資料の組織図の後ろから掲載させて頂きました。(広報部)

【前子供部会理事 桃井身代子】

2年前に岡田会長より子供会の理事を依頼され、我が家の息子も自治会の行事には、喜んで参加していたので、少しでもお手伝いできればと引き受けました。2年間は、あっという間に過ぎました。

土曜の夜の役員会で話し合いが長引いたりすると、翌日に朝早い予定がある時は、少し負担に感じましたが、いろいろな行事は楽しんで参加することができ、良い思い出が沢山できました。

『学校完全週五日制』に伴い、地域の関わりが期待されています。スポーツ少年団や塾等で週末予定の有る子も大勢いますが、年二回の子供部会の行事に200人を越える申込みが有り、150人以上の参加者が有ります。

地域の人達とのふれあい…異年齢の子供達との関わり…とても大切な時間だと思います。また、なかなか難しい問題も有りますが、シルバーの方やボランティアの協力を得て、20～30人の参加で体験教室(囲碁・陶芸・工作・アートバルーン・折り紙等)が開かれると、いいのにと考えています。

月二回の資源回収で年40万以上の収入が得られます。いろいろな自治会活動に活用されていますので、これからも自治会員として、資源回収に協力、自治会活動に参加、支援して行きたいと思っています。



【前子供部会理事 古畑明美】

ニュータウンに入居して10年目、初めての班長と理事を兼務することになり、戸惑いからのスタートとなりました。子供部会の担当になりましたが名ばかりで、自治会の皆様と一緒に歩んで参りました。

定例の理事会の議論、各部会の班長会、何回もの集りをへて、準備から始まり、後かたづけに至るまで、理事・班長の協力の下、行事が運営されており、この関心の高さが住みやすさにつながると感じました。自治会活動も活発になり世帯の増加に伴い、住人のニーズも多様化していると思われ、このままの自治会でいいのか疑問に残りました。住人のパワーが自治会を育て、プライベートを尊重し、コミュニティーを大切に、より暮らしやすい街へ発展できればと思います。

自治会活動の参加で、「アートバルーン」「ふれあい音楽会」は好評で「よかったわ」「また来年も」の声をいただき、携わって本当によかったと思いました。また、防災訓練は大規模なものであり、普段できない貴重な体験をしました。

最後になりましたが、理事の方々、班長の皆様の協力を得て、任務を終えることができたことに感謝致します。自治会活動を通して、地域の多くの方と知り合うことができたこと、多数の意見を聞き学んだこと、とても有意義な一年となりました。



【前防災・防犯・交通部理事 大矢 悟】

2001年3月11日(日)の新班長会議において、いままで、宝くじも当たったことが無いのに、アミダくじで見事に理事に当り、大役の防災・防犯・交通担当の副理事を仰せつかることになりました。副理事になって、初めて、会長、副会長並びに役員の方々がいかにニュータウンのために一生懸命考えているかが良く解りました。

一番最初に思い出されることは、夏の盆踊り大会でしょう。去年までは、2日に渡り行われたそうですが、今回は、役員及び班長さんの体力を考えて、1日だけにしたことは、正解であったと思います。作業としては、暑い中の準備(文化部の方は、事前の準備のため、もっと大変だったと思います。)、防災・防犯・交通部の担当であります交通整理及び町内の巡回、翌日の後片付けを行いました。後片付けの日は曇っており気温も高めではなく体力的にはかなり楽であったと思います。

二番目は、防災・防犯・交通部担当の防災訓練と言いたところですが、この日は出張と重なり、女房に代わりにも出してもらったので、特にコメントは有りませんが、出来れば、起震車体験訓練や、煙体験訓練(特に、



デパートや大規模スーパーなどでの火災に遭遇した場合にこの体験があれば有効と思います。)があれば良いのではないかと思います。

最後は、やはり、年末三日間の歳末警戒パトロールです。警察官の方が来られて、最近、他の町で引ったくりが多く発生しており、皆さん注意して下さいとのことなので、特にこのようなパトロールが重要であると認識しました。

最後に、白岡ニュータウンを良くしていくのは、ここに住んでいる皆さんのご協力無くして達成できません。従いまして、是非、行事・催しには積極的に参加して頂きますようお願いいたします。

【前衛生部理事 小川 誠】

2年前、(新) 班長会の会議で平成12年度の(新) 理事を決める抽選で見事自分が引いたアミダクジが当り、衛生理事に就任して2年が経過しました。

ゴミゼロ・生垣消毒・ボウフラ駆除等担当する年間の行事を衛生班の皆さんや班長・各理事さん、自治会・全員の皆さんのご協力で役をなんとか終えることが出来たこと厚くお礼申し上げます。

特にゴミゼロの白岡町との打ち合わせ、担当地区割り振りの段取り、使う道具の準備、不足分の買い付け、当日の朝の天気を心配したことや、後始末、落ち葉の袋の手配・処理、せっかく手配して生垣消毒したのに、あまり効果(効き目)が少なくクレームを頂いたこと等々、思い出が一杯ありました。

でも「自分達の住む街を皆の協力できれいにする」ことに役立てたこと自負しています。

理事を引き受けて、自治会の行事、準備、役員会等々で多くの方々と知り合え、話し合え、衛生班以外の多くの活動に参加出来たこと、貴重な経験をしました。

「花と緑豊かな街、静かで住みよい街、私たちの街、白岡ニュータウン」思い出と伝統が残る自治会の活動に今後もお役に立ちたいと思う。

本年度の役員さん・班長さん、大変ご苦労様です。



【前企画部理事 野呂 南実男】

平成12年度自治会に初めて企画部が発足して以来、13年度までの2年間、企画部理事を務めさせていただきました。

この間、担当してまいりました活動は、高岩公園における野外音楽会、白岡東小体育館でのクラシックコンサート、生垣・植栽およびペット講習会の開催、緑化規約等ガイドラインの作成等であります。

いずれの行事をとってみましても、自治会発足以来初めての経験で手ばかり見落とし等ないかと種々心配してきたところですが、各班長さんはじめ皆様方の暖かいご協力ご支援を受け、無事役目を終了しましたことを心よりお礼申し上げます。

特に白岡ニュータウン緑化規約等ガイドラインの作成については丸1年を要しましたが、まだまだ稚拙であり、今後補足・修正される箇所が多々あると思いますが、本件に関しましては今後皆様方の活躍に期待しております。

ただ、アンケート調査等を通じ同ガイドライン作成中に痛烈に感じましたことは、花と緑の潤いのあるニュータウンのキャッチフレーズもニュータウン住民個々の存在の上に立脚しているということを再認識したことであります。同ガイドラインの中に記されている基本的なことを述べます。

- (1) 少なくとも緑化規約等のルールへの遵守
- (2) タバコ・ガム等のポイ捨て、路上駐車違反の禁止、犬猫等のフン処理等、マナーの充実、ピアノ・テレビの音響に対する配慮
- (3) 隣家とのコミュニケーションを良くし、隣家への配慮、良識、思いやりに留意

特に、(3)には、ごく一部ですが深刻なものが含まれています。隣家とのトラブルは非常に悲しい不幸なものであります。ひとつのボタンのかけ違いがあると一生尾をひく結果となります。シコリが残ります。修復はもっと難しくなります。

以上のトラブルを防ぐため、同ガイドラインを参考にし、より良いニュータウン・ライフをより快適に過ごすため、お互いに叡智をしばっていききたいものです。



【前広報部理事 気賀 信彰】

2年前の新旧班長会のくじ引きでまさかの当たりに引いてしまってから長かったのか短かったのか、いつのまにか任期を全うしてしまいました。班長が回ってきた事さへ憂鬱に思っていた自分が、最低でも任期が2年と言われた役員をしなければならないという事態に直面して何とか逃れられないかと思いを巡らしたあの頃をなつかしく思えます。でも、覚悟を決めた後は、どうせなら楽しくと気持ちを転換して参加させてもらいました。

自分自身が面倒な事がいやなので、広報部員の皆さんにもあまり仕事が負担にならないよう、楽しく参加していただけるようにするのが1つのモットーではありました。ただそれも難しいもので、一番楽なのは仕事を少なくする事ですが、その一方で「自治会だより」を充実させて住民のコミュニケーションを向上させる使命は果たさなければなりません。

昨年1年を見ても「自治会だより」の中身は質・量ともに充実してきました。読者の中には、そんなにたいそうにしないでとも思われた方もいるのではと思います。今年の新班長の皆さんに事前に希望担当部署のアンケートをとった所、なんと広報部だけが希望者0でした。やっぱりそんなに大変だと思われてるんだと実感しましたが、広報部員の反省会では、それほどの負担ではなかったという感想が多く少しほっとしました。

楽しかったと言ってもらえれば理想ですが、少なくとも2度とやりたくないと言われなければと謙虚に納得しています。私自身は?... 結構楽しませてもらいました。

花と緑♪ そして人の和ニュータウン♪

【前総務部理事 田中正敏】

このたび2年間おつとめした総務理事を退任いたしました。その間、会長様はじめ各理事の皆様のご指導とご協力によりなんとか果たし得たことに満足しております。

私はこの地に引っ越し後5年になりますが、このたびの経験でニュータウンの全貌と大勢の素晴らしい方々を一気に知り、花と緑の街がこうしてできているのだとよくわかりました。

役員会では、いろんなことが議論されます。いろんな行事と話題（ごみゼロと落ち葉対策、夏祭り、青空市、展示会、子供お楽しみ会、防災訓練、年末警戒、緑化、ペットのしつけ、CATV・2チャンネル広報、役員選出法、決算

・ 予算など）実に豊富な内容です。一部には、自治会役員になると大変だ、抽選で当たったら大変だとの声も聞かれます。たしかに会合や休日返上の場面もありますが、ここはボランティアの精神で成り立っています。できるだけ多くの方々に、理事経験をしていただくことが、地域を知る上で一番の近道であり、そういう経験者が多くなればそれだけ地域に対する理解も深まり、いざという時の一致協力もできると思います。和やかで強靱な地域が構築できるでしょう。

この10年間の自治会理事経験者の状況を調べてみましたら、理事を1回でも経験された方の数は100人、その内2～3回経験者は31人、4回以上経験者は9人おられます。自治会員総数1063戸に対してこの数です。約9%の方が理事を経験されています。それから会の脈絡をとるため、重任されご苦労いただいている方もこのようにおられます。近年5～7人くらいの方に新任をお願いしているようです。このリズムですと、理事経験者比率は、5年先12%、10年先15%という想定になります。私は、いまの新旧理事数の決め方というか成り行きは非常に良い感じで運営されていると思います。この中で、できるだけフレッシュな気風を盛り込んでゆけたらなあと思います。

最後に、会長様はじめ理事各位、事務局にお礼申しあげます。これからのご協力惜しみません。



『女性の出席を主とする班長会』のご案内

平成14年度の班長の皆さんにおかれましては1年間よろしく申し上げます。この街をより良い方向に導くよう貴重なご意見をいただくとともに、自治会主催の種々の行事におけるご活躍を期待しております。

さて、例年どおり『女性の出席を主とする班長会』を下記要領で開催を予定しております。一日の大半をこの街で生活されている女性の立場から多方面に亘るご意見提案を期待しております。

(記)

1. 日時：6月15日(土) 午前10時より(2時間程度を予定)
2. 場所：2丁目集会所(センタープラザ)
3. 備考：会合には会長以下各部理事も出席を予定しています。

何なりとご意見をお聞かせ下さい。

.....総務部.....

“わが故郷”

富田 博

『ふるさとは遠きにありて思ふものそして悲しくうたふもの』

私は古稀を目前にしたこの歳になった今でも故郷に思いを馳せると、何時も室生犀星のこの詩の一節を思い出す。わが故郷は群馬（県）の県南で、上毛三山と言われる赤城・榛名・妙義が四顧の位置にあったから毎日のようにこの山々を眺めながら育ち、高校を卒業するまで両親と共にこの地で過ごした。以後、四季折々に見てきたこの風景は今日でも犀星の思いと重なって、我が青春の原風景として心に深く焼き付いている。



犀星は金沢の生まれで、群馬県の生んだ高名な詩人、萩原朔太郎とも親交があり作家・抒情詩人としても名をなした。私は朔太郎より犀星の詩の方に引かれた青年だった。高校を卒えると上京、就職して社会人となった。以後、労働の合間に南北アルプスや秩父の山々を跋涉しながら人生を重ねてきた。今ブームになっている日本百名山の踏破は私の若い頃からの目標でもあったから、これまで半数近くの頂きに足跡を残してきたというのに、故郷のこの三山だけは今も未踏の山として残っている。それは遠くから眺めて懐かしむ故郷の山であって、山頂を極める対象の山ではないという強い思いがあったからかも知れない。

「ふるさとの山に向かいて言うことなし

ふるさとの山はありがたきかな」

と啄木が歌った望郷歌を口ずさむと、わが上州三山への懐かしさが甦り、年甲斐もなく涙腺が潤んでくるのである。

点描

Eメール時代

高 薄 克 人

パソコンが普及し会社はもちろん一般の家庭にも広く使われるようになってきたのはつい数年前のことだが、ここ2-3年はすざましい拡がり方なのである。会社では一人1台時代になり、家庭でも使っていない家の方が少ないくらいである。私もこの数年仕事にパソコンEメールを毎日利用し今では無くてはならない道具になっている。以前は電話や手紙などで連絡していた用事がかなりの部分Eメールに代わりこれまでは電話で喧騒としていた事務所も今や静かなものである。朝、出勤するとすぐにEメールを開き目を通して、返事をしたり必要なアクションをとる。中には半日以上パソコンにむかって黙って仕事をしている人もいる。いつでもメッセージを素早く送ることができてしかも他人には知られることも無い。文章も簡潔でよく手紙のように封筒や、宛名書き、切手も要らない。他からの引用や、添付も簡単にできるしまだ多くの人に同時にメッセージを送ることができる、...などなどすぐれた機能をもっている。

しかし一方的なメッセージ手段で、相手の顔が見えず電話や対話のような同時双方向のコミュニケーションは難しく、微妙なニュアンスが伝わらない。私のように人との会話を通じて仕事を進めなければならない者にとっては、便利ではあるが、頼るのは危険である。会って相手の顔を見ながら、声を聞きながら反応を敏感に捉えることによってその人が何を考え感じているかを感じ取っていくのが大事なのである。

とかく簡略化されスピード化されていく今の人間社会で、余裕をもった対話を多く持ち十分にお互いを理解することが大切になってきているのではないだろうか。

《子供部会コーナー》

【鳥をつかまえるさくせん】 3年生 飯野 歩

(日記中の絵)

……二年生の日記より……

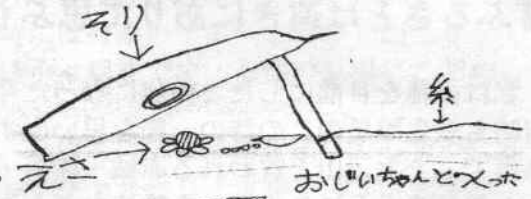
<1月15日>

今日家で、鳥をつかまえるさくせんをたてました。どういさくせんかという、そりをななめにたてて糸のついた太いぼうをそりのはしっこに一本たてます。そのそりの下にえさをおきます。そして、そのえさのところには鳥がきたら太いぼうについた糸をひっぱると鳥がその中にはいます。そのすきにそりをちょっとあけて、鳥をつかまえるのです。うまくいくといいなとおもいます。

<2月20日>

このまえおじいちゃんがきました。そこでおじいちゃんと、鳥をつかまえる『さくせん』を考えました。それは、おもしろいさくせんです。よういするものは、あみ、糸のついたぼう、さくをたてるときつかうぼう大きい一本、ゴムひも、れんが、みかんやお米です。そして作りはじめました。まずあみをつくります。小さくて、細いぼうをあみの外がわにこっかくのように、さします。つぎは、大きいぼうをちょっとまげて、ゴムひもをそのあいだにとします。そして弓のような形をつくります。その弓に、あみをつけます。そうすると本たいのできあがりです。あとは、レンガで、りょうはじをおさえて、このまえも日記でかいたようにぼうをたてて糸をひっぱるとあみがおちます。でもこんどは、とつてもはやいです。なぜかという、ゴムひもをまくとおちるのがはやくなるのです。お父さんが「りょうしみたいたな」といっていました。こんどこそかかるといいなとおもいます。

さいしよにフックつたもの



よこから見た図

前か見た図

【最後の1年間はみんなの力】 6年生 永井 紀 固

私は六年生になりました。

五年生のとき、とてもいいクラスで、クラスがえしたくない。なんて思った事もありました。でもやっぱりクラスがえは、しなくちゃいけないし…しょうがないと思って、春休みを、すごしました。

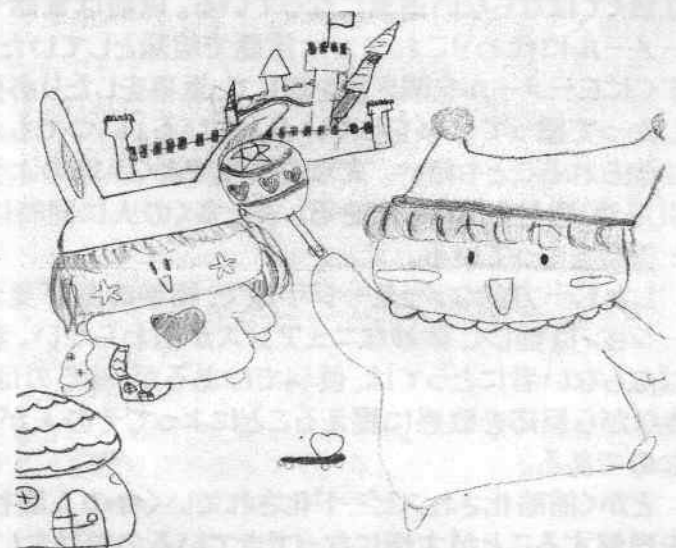
そして、六年生の新学期がスタートしようとしています。私は、まず校門をくぐって、上ばきにはきかえて、3がいどもくてきホールにけいじしてある、クラスがえの発表を見ました。その時は、すごく、しんぞうがドキドキして、たまりませんでした。そして、私は六年三組の、男女こんごう22番(女子だけで10番)でした。そして六年三組の教室で先生のしじがあるまで、まっていた。まっている時は、六年三組には、こんな人が入ってきたとか、みんな仲良しになれるとか、いろいろなことをかんがえていました。

そしていまは、もうすっかりクラスにとけこんでいます。みんな、とてもいい人ばかりだし、みんな仲良しになっているし、まだこれからさきは、こてき(六年生達が小だいこなどいろいろな物でえんそうすること)もあるし、私はこてきのしき者なので、ガンバっていきたいと思います。

六年三組のクラスの目標は、元気に楽しく汗を流そうときめました。だから5月に、町内陸上きょうぎ大会があるので、みんな協力しあって、元気に楽しく汗を流したいと思います。

【春の天し】 2年生 長 奈津 希

【ミルモの国へようこそ】4年生 安井 杏 那



《悠友会コーナー》

新白岡悠友会『平成14年度定期総会』開催さる

4月22日(月)初夏を思わせるような汗ばむ好天の中、会員45名の出席の下で、新白岡悠友会平成14年度定期総会が開催されました。新年度は追川会長が健康上の事由で会長を辞される事になり、新会長に副会長の赤津允勇氏が選出され、就任する事になりました。追川会長の挨拶に始まり、定期総会の議事に入り

*13年度審議議事に関しては高瀬副会長の議長の下で

1. 平成13年度事業報告
2. 平成13年度会計報告・監査報告

が審議され、出席者多数の賛成で承認されました。引き続き新年度の新役員選出に入り、理事23名(会長・副会長2名)、監事2名・顧問2名が選出され、新会長の就任挨拶が行われました。

*14年度審議議事に関して赤津新会長の議長の下で

1. 平成14年度事業計画(案)
2. 平成14年度収支予算(案)
3. 会則改正(案)

が審議され、出席者多数の賛成で原案通り承認されました。新年度に関し、新しい運営体制の下で、悠友会が益々発展し諸活動が展開される事を願います。



……悠友会総務広報部……

新白岡悠友会【平成14年度活動方針】

新白岡悠友会会長 赤津允勇

……楽しく・笑顔溢れる悠友会……

〈この街で、会員相互に触れ合いながら元気に毎日を楽しく生活しましょう〉

ニュータウンも入居から15年、成熟した街に成長しました。素晴らしい街です。その間、街の様相もかなり様変わりして来ました。住む方の高齢化も進み、次の更なる発展への転換期を迎えているかと存じます。悠友会も役員各位・会員各位のご努力により、白岡町老人クラブ連合会の中でも名実共に大きな存在の会に発展して来ました。会員各位に改めてお礼を申し上げます。又悠友会を陰から支えて頂いています白岡ニュータウン自治会に対して心からお礼を申し上げます。更なる発展の為に、60歳以上の皆様が元気溘刺、楽しく過ごすことが出来る街、ニュータウンを目指し、悠友会も今年一年、前向きに多くの活動に取り組んで行きたく考えます。

1. 計画行事には積極的に参加し、思いっきり心から楽しみましょう。
2. 悠友会の諸活動は、会員相互の会話への橋架けであり、これを一つの糧としてコミュニケーションの場を広げて参りましょう。
3. 自治会との関わりを深め、自治会の諸行事には積極的に参加しましょう(ゴミゼロ運動・盆踊り大会・青空市など)
4. 成熟したニュータウン、60歳以上の方も急速に増えています。新しい会員を募りましょう。
5. 悠友会のクラブ活動に積極的に参加しましょう。先ず参加することから始めましょう。
6. 白岡老人クラブ連合会の諸行事にも積極的に参加しましょう。

**【今年一年、新白岡悠友会の会員として、楽しく・愉快地に・
笑顔溢れる毎日を過ごして参りましょう。】**

《防犯・防災コーナー》

『110番の応答』が変更されました。

埼玉県は、110番通報の応答方法を従来の「何かありましたか」から「事件ですか・事故ですか」に変更されました。

この理由は、110番を事件や事故に対応するものであることを認識してもらうこと。問い合わせ等について速やかに電話を切るようにするためだそうです。警察通信指令課によると、昨年の110番受理件数は74万1043件あり、43秒に1回受理した計算になり、このうち、緊急性のない、いたづら電話、警察署の電話番号や運転免許更新手続きに関する問い合わせなど緊急性のない110番が27万382件もあったとのことです。

回線がふさがる「オーバーフロー」現象のほとんどが夕方から夜にかけて起きており、事件・事故の通報がつかない場合を懸念しての対策であるとのことです。

新白岡駅前交番も無人の状態を回避して欲しいとの要望書を久喜警察署に提出する等の対策を講じていますが、通学・通勤者が多いこの時刻に110番通報が集中していることは非常に心配です。交番入口の左側に久喜警察署直通の電話が備えつけられておりますが、緊急の場合は110番ください。通報場所に一番近くをパトロールしている署員が急行することになっています。

警察署でも被害にあったら、すぐに通報しその時の状況をできるだけ詳しく報告してもらうことが早期犯人逮捕につながるとのことです。第二、第三の被害者を出さないためにも被害にあったら勇気をだして110番通報を心掛けましょう。

安全な街・安心して住める街づくりにご理解、ご協力をお願いします。

……防災・防犯・交通部……

＜平成14年度＞第1回ゴミゼロ・クリーン運動の実施について

日ごろ地区環境衛生事業の推進につきましては、ご協力を頂き有難うございます。

さて、今年も白岡町全域において、恒例のゴミゼロ・クリーン運動が展開されます。

白岡ニュータウンでも、下記のとおり実施いたしますので、一人でも多くの皆様に参加くださいますようお願いいたします。

記

1. 実施日時 5月26日(日)9時～10時30分
＜雨天の場合は、6月2日(日)同時刻＞
2. 集合場所 各街区指定のゴミ集積場所
(例えば、けやき公園・新白岡駅東口等)
3. 実施内容 道路・公園・集会所・学校等の周辺の美化清掃運動
(空き缶、空きビン、ゴミの回収および一部雑草抜き、併せて側溝の汚泥除去)
＜注；側溝の汚泥は、ドンゴロスの袋に回収し道路際に置いておく＞
4. 持ち物 ほうき(竹箒など)、塵取り等 ＜軍手、袋は支給されます＞
5. その他 参加者全員に、飲物をさしあげます。



……衛生部……

※平成14年度の広報部 理事 田村・岡本、班長 宮城・松本・早川・佐藤・福田・加藤・永田・松岡の10名のメンバーでスタート致しました。何卒宜しくお願い申し上げます。(広報部)

《編集後記》

本年の総会は連休の谷間での開催となり、出席者の数が気になりましたが、結果的には前年(190名強)より若干少なかつたとはいえ約180名の方にご参集いただき、改めて当タウンの自治に対する関心の高さを感じました。また、今回は50名弱の方にアンケート回答を頂き、その結果を見ますと「総会を質疑応答と対話の場にしてほしい」主旨のご意見が数多く寄せられました。大変正鵠を得た貴重なご指摘であると思っておりますので、今後、総会のみならずさまざまな集会その他行事が、参加者(出席者)がより主体的に行動していただける内容となるべく、自治会役員会でも検討していきたいと考えております。(田村)

定時総会も無事終了し、自治会も新年度をスタート致しました。ニュータウンも入居が始まって早や15年の年月が過ぎました。色んな面で変化が現れて来ている様です。2月のある班会議の報告の中から、「自治会だよりもっと質素な印刷を」「紙量も多いので内容のカットを考えて下さい」と有りました。たしかに“1月新春号”は表紙をカラー印刷にしましたが、カラー分の費用は業者からの広告料でまかないました。広報と言う仕事の難しさを考えさせられています。しかし、今年1年、皆様の多くの方により多く関わって頂き、小さなメディアですが多方面の情報を流し、住民相互の心のコミュニケーションを踏ることが出来ます様に努力して参ります。何卒ご支援お願い致します。(岡本)